

## 港新聞の発行目的

- まじめに生活し働く区民の立場で
- 真実を伝え、ともに考え、提案し
- よりよい港区づくりに貢献する

発行 **港新聞** (代表: 飯田吉一)

〒552-0005 大阪市港区田中3-3-3 TEL・FAX:06-6571-4636

<http://osaka-minatonews.sakura.ne.jp/>

Eメール: [yamaemi@bridge.ocn.ne.jp](mailto:yamaemi@bridge.ocn.ne.jp)

毎月15日にホームページで発行 <冊子価格: 税込300円>

**働く仲間の相談所**

倒産、解雇、**無料**  
賃金不払い、  
条件切下げ  
など何でも

困ってませんか?

港合同 (南市岡3-6-26) ☎6583-4858

**パソコントラブルレスキュー**

パソコンに関することなら、すべておまかせください。

✓ 矢野システム研究所

- ▶ パソコンが起ちあがらない
- ▶ データを消してしまった、消えてしまった
- ▶ ハードディスクが調子悪い、大事なデータを取り出したい
- ▶ ウィルスが進入して困った、どうしよう
- ▶ 外国船のパソコンが調子悪い、助けて!

港区八幡屋1-9-2 ☎6573-4321

**被災地農民を支援します。**  
**反原発の声をあげよう!**

ご協力下さる方はご連絡下さい

**三里塚産直野菜の会**

磯路2-3-9(三社神社そば) TEL.6572-0130

珈琲館 **隠岐**

おいしいおいしい! 炊きたてコーヒー  
マスターおすすめ! 手作りハンバーグ

☎AM7:00~PM5:00 (休)毎週月曜日  
磯路3-25-6 ☎6575-3051

## ゆうやけ

★「今ある組織の上に新たな組織を作って、果たして地域が良くなるのでしょうか」という女性の言葉が耳に残っています。「今なぜ『地域活動協議会』か!」(1頁)での参加者インタビュー。古人の言葉にも「あらためて益(やく)なき事はあらためぬとよしとするなり」(『徒然草』)とあるように、本当にこの新組織が地域にプラスになるのか、その発想はどこから来たのか、また今ある組織はこのままで良いのか、ぜひ感想をお寄せ下さい。

★その一方で、古くても価値ある物は残すだけでなく、更に発展させていくべきでしょう。「教室合同発表会」(25頁)での高齢者の民謡

や詩吟は、単に練習の成果を発表しているという以上の輝きが感じられました。酒造りや牧畜という各地方の労働の中から生まれた歌詞や旋律の力強さ、優しさ、また陽気さ、哀しさ。ちょっとした解説も加えていますので、ぜひ紙上で味わってみて下さい。

★古いといえばもう二つ、「戦争体験語り継ごう」(38頁)と「故郷の話をしよう」(28頁)。今月から新たな語り手を得てシリーズの命脈が保たれ、取り敢えずはホッとしています。片や裕福な幼少期が戦争で転変していく過程を、片や極小の島での心温まる少年期を、ぜひ時空を超えて疑似体験してみてください。